



大蛇きれいな女房に化ける

むかしむかし、けちんぼの男がやもめぐらしをしていたんだとお。ところがある日、野良で働いていたら、その辺にみられないようなあかぬけのした旅仕度の娘が通りすぎたとお。

そうして旅のものが今晚とまるあてがないので、一晩やっかひになりたいと願うので、むさくるしいが、一晩位はよかんべいと思つて承諾したんだとお。夕方家に帰るとその娘はかいかいしく仕度をかえて台所をするやら、ふき掃除をするやらで、家の中が見違えるようになったんだとお。娘はいつこうにおいとまする様子はない。一晩、二晩とついついいっしょにくらすことになつただとお。やがて娘は女房にしてくれるなら機織りが上手だから、機を織つて金もうけをさせてくれるという。男はやがて娘との仲も深まり、ちぎりを結び喜んで女房にしたという。